

ステムセル研究所、AsiaCORD 2025 年会にて 最新の国内臨床研究の状況について発表

ステムセル研究所は、2025年4月11日～12日に東京大学医科学研究所で開催された「AsiaCORD 2025 年会」（主催：AsiaCORD、大会長：東京大学医科学研究所 長村登紀子先生）において、2演題（口頭・ポスター）を発表いたしました。

約22年ぶりに東京での開催となった今年のAsiaCORDでは、臍帯血を中心とした最新の移植医療・再生医療技術が議論され、アジア各国の公的・民間バンクおよび医療機関が多数参加しました。当社は大阪公立大学と共同で取り組んでいる臨床研究「自閉症スペクトラム障害に対する自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発」の概要について口頭発表するとともに、臍帯保管技術に関する社内検証をポスター発表しました。

また当社は、今年のAsiaCORD大会の運営事務局としても大会の円滑な運営をサポートしました。大会前日には、台湾のBIONET、ベトナムのMekostemなど、アジアを代表する民間バンクを交えた特別セッションを開催し、今後の国際連携強化について積極的な意見交換を行いました。

ステムセル研究所は、今後もさい帯血やさい帯、周産期由来組織を活用した再生医療の研究開発を推進し、アジア全域の医療発展に貢献してまいります。

大会開催概要

日時：2025年4月11日（金）～12日（土）

会場：東京大学医科学研究所（IMSUT）

主催：AsiaCORD

大会長：東京大学医科学研究所 長村登紀子先生

公式サイト：<https://plaza.umin.ac.jp/asiacord/2025/>

stemcell
INSTITUTE

株式会社ステムセル研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19 東急虎ノ門ビル2階

☎ 0120-346-257 受付時間9:30～17:00（土・日・祝日休）

